

地域に関心を持たずにいる市民にも届く効果的な情報提供方法のトライアル

1 取組の目的・全体像

(1) 目的

マチコエのコミュニティグループが提案したイベント情報の電子化は目に触れる機会の増加が欠かせない。関心を持ってもらうための効果的な見せ方や掲示場所の工夫等のアイデアを、市民の声を聴きながら市民視点で実践することでその有効性を確認する。

(2) 効果

電子化したイベント情報の見せ方や付加機能に対する市民のニーズが分かれば、地域に関心を持たずにいる市民にも届く効果的な情報提供を行うことが可能となり、今後の市民団体や市民活動で情報提供する際のノウハウの蓄積も期待できる。

(3) 内容

手軽に投稿できるイベント情報サイトを立ち上げ、関心を持ってもらうために必要な要素と持続的な運営方法を探る。

① 既存サービスを利用したイベント情報サイトの開設

閲覧者、投稿者の声を通じて電子情報のまとめ方や見せ方、必要な付加機能などがつかめる紙媒体ではなくデジタル情報、デジタルサイネージによる効果を確認することができる。

② インフォメーション・デスク候補店舗の開拓

趣旨に賛同してくれる店舗にタブレットやサイトのQRコードを載せたカードを設置。閲覧数の多い店舗や閲覧者の属性を分析できれば市で同様のイベント告知をする際に活かせる。

③ コミュニティへの関心を高めるアイデアの発掘

Web アンケートの設問や店舗へのヒアリング、投稿者・閲覧者による座談会等により意見やアイデアを収集。

2 取組のポイント

(1) サイトの開設

外注も検討したが、最終的に投稿が容易な有料サービスを選定し可能な範囲でカスタマイズした。コンテンツを増やすため、市のみんなの掲示板へのリンクも掲載した。

(2) タブレットの設置

当初の計画ではデジタルサイネージの効果を捉える目的で7店舗への設置を予定していたが、タブレットを置くだけでは閲覧に繋がらないと審査時に指摘を受け、メンバーが頻繁に訪れてサポートができる市内3店舗に絞り込んだ。

(3) QRコードの配布

メンバーの顔が効き趣旨に賛同する店舗（市内16カ所）にサイトのQRコードを載せたカードを置かせていただいた。

(4) 使用感アンケート

サイトのトップに補助金事業の目的と開設の趣旨を記載し、閲覧者/投稿者に使用感アンケートへの回答をお願いした。

(5) スケジュール

- ステップ1 (2023年10月～11月)
 - ・イベント情報サイトは試験運用中で公開
 - ・QRコード付カードの設置場所を増やす
- ステップ2 (2023年12月～2024年1月)
 - ・サポート可能先のみタブレット配布
 - ・アンケートで閲覧者/投稿者の意見収集
- ステップ3 (2024年2月～3月)
 - ・使用感アンケート&店舗へのヒアリング
 - ・サイトユーザーを招いて座談会を開催

(6) メンバーと役割

マチコエ・コミュニティグループに所属していたメンバーのうち、有志8名が役割分担しながら以下の企画作業及び自身の行動エリアを中心とした周知活動を行った。

- ・使用感アンケート Form の作成/確認及びアンケート結果の集計
- ・投稿サイトの試用/選定及び選定後のカスタマイズ/動作確認
- ・周知用チラシ/QRコード付カードのデザイン
- ・周知用チラシの配布及びカード/タブレットの店舗への設置依頼
- ・イベント参加者/友人/知人へのサイトの紹介及び利用登録の支援
- ・ユーザー座談会の企画/設営及び運営
- ・審査時と報告時の資料作成/確認

3 取組の成果

(1) 使用感アンケートの集計 (20件)

- ・ここミタをどうやって知ったか?
→友人知人の紹介：60%
- ・ここミタに投稿をしてみたか?
→投稿した：40%
- ・ここミタは投稿しやすかったか?
→ふつう&まあまあ：75%
- ・ここミタで情報は探しやすいかったか?
→ふつう：50%
- ・自由記入コメント：発信の手軽さと鮮度については概ね高評価だった。情報量の少なさと投稿ルールのわかりにくさに対する指摘が多かった印象。

(2) タブレット設置店舗の声

- ・画面に動きがないと立ち止まって触れるまでにはつながらないと思う
- ・イベント利用を許容する店舗なら店のコマースも出来ればなお良い

(3) サイトユーザーの意見 (2024/2/24 座談会@産業プラザ)

- ・日付順で並べば検索がしやすい
- ・若い世代が参加できるイベントが少ない
- ・イベント終了後に削除ではなくアーカイブすれば別の利用価値が生まれる
- ・補助金が終わった後が心配。スポンサーを探すなど運営費の捻出を考えては

(4) 総括

情報の正確性やサイト自体の信用性をどう担保するのかという懸念の声もある中、サイトの発展を期待する声も多くいただき、その存在を広く市民に知ってもらえば課題解決につながると確信した。



ここミタ周知用チラシ



ここミタ QR コード



座談会の様子

4 次年度以降の取組について

(1) サイトの改良

- ・寄せられた意見のうち、可能なものは引き続きコミュニティ G 有志で手分けして反映、修正する予定
- ・特に SNS を使い慣れた若い世代を引き込むため、若い世代が参加できるイベントの掲載数増加を狙う

(2) 市民への周知

- ・残っているチラシや QR コード付きカードは、コミュニティスペース候補となる店舗に設置を依頼する
- ・市民協働センターに団体登録し、同センターを利用する他団体の開催イベントへの活用を呼びかける
- ・サイトの改良を終えた段階で、投稿者向けにサイトの活用法についての講座を年に数回開催する
- ・コミュニティセンターで開催されるイベントについては主催者による投稿を促す方策を模索する

(3) サイトの存続

- ・サイトの月額使用料は、別の補助金の申請を行い、その間はコミュニティ G 有志のカンパで賄う予定
- ・並行して、有料サポーター制にするか地域に根ざし公益性の高いスポンサーを見つけるかの選択をする

<取組の報告を受けた選考委員からの主な意見（助言等）>

- ・イベント情報サイトを開設したとのことだが、サイトの場合は絶えずメンテナンスを行う必要があるため、今後も取組を継続していくために、SNS などの双方向性のツールを使った手法を検討してもよいと思う。
- ・SNS にイベント情報サイトのリンクを掲載するなど、SNS とサイトを組み合わせて情報発信するのも効果的である。常に最新の情報を提供したり、サイトの内容をわかりやすいものにするにより良くなると思われる。